

令和8年5月19日

課名 商工労働局イノベーション推進チーム

担当者 担当課長 門永

内線 3354



令和7年度「ひろしまユニコーン10」プロジェクトの取組状況について

1 要旨

令和7年度における「ひろしまユニコーン10」プロジェクトの主な取組について報告する。

2 取組状況

(1) アクセラレーションプログラム（予算：46,595千円）

採択企業7社に対して、事業説明資料の改善及びVCとのネットワーク構築等、個別のニーズや成長段階に応じた伴走支援を実施し、スタートアップの成長を加速させた。

企業名	事業内容	支援期間中の主な成果
WOTA(株)	小規模分散型水循環システム・水処理自律制御システムの開発	資金調達の実施。また、広島県をはじめとした全国の自治体と協定を提携
(株)ジザイエ	工場や建設現場におけるリアルタイム遠隔就労支援システムの開発	県内スタートアップ2社と協業し事業を拡大
(株)Blossom Energy	黒鉛を用いた熱エネルギー大規模貯蔵システムの開発	商用蓄熱式ボイラの初号機を竹原市に設置
ESREE Energy(株)	ヒートポンプを用いた蓄熱蓄電技術の開発	資金調達を実施
NousLagus(株)	業務用ソフトウェアの最適化支援システムの開発	自社ツールの有償契約を9社と締結し販路を拡大
(株)pecoli	地域特化型マッチングアプリの開発	福利厚生としてのアプリ導入について県内4社から内諾を得て、導入に向けた協議を推進
(株)マテリアルゲート	単分子誘電体の製造・販売、単分子誘電体デバイスの開発および技術供与	海外大型展示会の出展。また、累計9.1億円となる資金調達を実施

(2) 海外進出支援プログラム（予算：57,700千円）

ア 東南アジア進出支援事業

東南アジアへの進出を目指す県内スタートアップ等に対し、現地支援機関と連携して事業展開に必要なネットワークの構築や情報収集を支援することで、海外進出の早期実現を図った。

企業名	事業内容	支援期間中の主な成果
(株) ウーオ	スマホを用いて水産流通をデジタル化し、需給を最適化する「UUUO」の開発・運営	日系飲食店2店舗に鮮魚を納品。5社へのアプリ導入を実現する等、シンガポール顧客への販路を拡大
ENTECH(株)	製造プロセスの改善、アジアの医療格差の縮小のためにデジタル歯科技工のプラットフォームを提供	シンガポール在住の専門家と面談を繰り返し行い、海外でも利用しやすいシステムを構築中
SYNRA (株)	次世代エッジ振動監視システムによる製造業 DX	協業モデルの検証に必要な協議を進めるため、シンガポール企業と NDA を締結
中村ユセフ 健 (創業前)	大型船向けの燃費を向上させる特殊形状のプロペラを開発	海事関係者との面談を通じ仮説検証を実施。また、現地支援機関との面談でハード・ソフトウェア双方の評価を獲得

イ 北米進出支援事業

北米進出を目指す県内スタートアップ等に対し、現地支援機関と連携したセミナーや専門家メンタリングを実施した。市場理解から進出計画の策定や具体的な商談機会の創出までを一体的に支援した。

企業名	事業内容	支援期間中の主な成果
(株) エイトノット	小型船舶向け自律航行システムの開発・提供	米国における販売体制の構築に向け、パートナー候補との面談を実施。また、支援機関の紹介により現地インキュベーション施設の入居を検討中
広島大学病院 感染症科	ヒト・動物用 SFTS 迅速抗原検査キットの開発・販売	支援機関の紹介により現地大学の施設利用が具体化し、事業化に必要な試験を早期に開始する予定
(株) 抗体医学研究所	肺線維症の進行を止める医薬品の開発・製造	マッチング面談を通じ、日米欧の複数企業と協業に関する協議・検討を開始
SYNRA (株)	次世代エッジ振動監視システムによる製造業 DX	仮説検証を通じ、現地拠点設立や体制構築に向けた初期段階の準備を開始
(株) SMILE CURVE	思春期特発性側弯症を早期発見する検査システムの開発・導入	現地病院等との面談を実施し、実証協力先の確保及び市場適応への知見を獲得。また、現地拠点設立に向けた検討を開始

(3) 資本政策支援事業（予算：23,000千円）

スタートアップの効果的な資金調達に向け、相談窓口の開設や勉強会を開催した。また、財務面から企業経営を担うCFO（最高財務責任者）人材の育成支援等のプログラムを提供した。

支援項目	事業内容	実施結果
相談窓口	現役CFOや投資、融資、法務の専門家による個別相談窓口を開設	事業計画や資本政策、ビジネスモデル等に関する34件の個別相談に対応。主に創業期前後のスタートアップの相談に対応し、事業計画や資本政策の質の向上、コーポレートの機能強化等を図った。
勉強会	CFOに必要な知識を体系的に学ぶため、各分野の専門家を講師とした勉強会を開催	事業計画や資本政策、組織戦略、投資契約等をテーマとした勉強会を6回開催。県内外のスタートアップや県内の中堅企業を中心に延べ105人が参加。参加者からは専門的な知識の習得や、参加者間のネットワーク形成の面で高い満足度を得られた。
実践的育成プログラム	主に現役CFOを対象に、実践的に学びを深める場を提供	事業成長や資金調達、M&Aによる成長戦略等をテーマとした非公開のプログラムを3回開催。スタートアップのCFO等が延べ14人参加し、参加者の課題を深掘りした実践的な議論を促した。
短期集中プログラム	オーダーメイド型の集中支援を実施	スタートアップ2社を選定。VCからの調達を目的に、株主交渉に関する支援や海外進出時における現地投資家からの調達に関する支援を実施した。
資本政策・CFO人材活用促進プログラム	資本政策の策定やCFO人材の活用を資金面で支援	資金調達時における弁護士等の専門家費用や、CFO人材の採用に関する費用について10社を支援し、CFOの県内定着を図った。

(4) 大型カンファレンスへの登壇・出展

県内外の大型カンファレンスに県として登壇・出展し、事業会社やVC等とネットワークを構築するとともに、「ひろしまユニコーン10」プロジェクトのプロモーションと有望な県内スタートアップの紹介を図った。

開催月	イベント名 (開催地)	出展内容・成果	接触人数
R7.5	SusHi Tech Tokyo 2025(東京)	県内スタートアップ2社とブース出展をするとともに、広島県の施策に関する登壇及び県内スタートアップ4社のピッチイベントを実施した。	約400名
R7.7	IVS2025(京都)	後日ブースに来た投資家と県内スタートアップの面談を2件設定した。	約340名
R7.8	DATERISE! 2025 (仙台)	県内スタートアップを来場者に紹介。十数人の投資家と接触した。	約120名
R7.11	-TSUNAGU 広島-2025 (広島)	アクセラレーションプログラムに採択をしたスタートアップ3社に対してピッチの機会を提供し、5社に対してブース出展の機会を提供した。	約430名
R7.12	Startup JAPAN EXPO 2025 in 大阪(大阪)	後日ブースに来た投資家・事業会社と県内スタートアップの面談を2件設定した。	約200名
R8.1	TechGALA Japan 2026 (名古屋)	スタートアップ2社、広島大学、広島市と共にブース出展。後日事業会社に県内スタートアップを3社紹介した。	約120名

3 今後の取組について

引き続き、スタートアップの成長段階に応じたプログラムを提供するとともに、スタートアップの急成長を実現するため、海外進出支援の対象エリア拡大や、資本政策に知的財産権戦略の支援を加える等、取組を強化していく。また、県の取組に加えて、大学や金融機関等の地域の支援機関と連携し、スタートアップの成長を後押ししていく。